

職員による自己評価

A環境面

現在の利用者に対しスペースが適切である。

B児童への支援内容

利用者のニーズや課題を分析し、特性に配慮した活動をしている。

C関係機関との連携

学校等との連携は不十分ではないか。(コロナ等でケース会議などが行われていないためもっと積極的に動ける部分もあったかも。)

D保護者への説明責任・信頼関係

電話にてよく話を聞くようにし、日々の様子についてよく連携を取るようにしている。

E非常対応

避難訓練の実施がなされている。

職員に対しての緊急のマニュアルの周知がされていない気がする。

保護者による評価

A環境面

スペースは十分に確保されている。

バリアフリーの設置がされている。

B児童への支援内容

活動内容に満足している。

地域や他の児童クラブとの交流はない。

C事業所からの情報発信

事業所がよく電話をして今日の様子を教えてくれるので感謝しています。

D非常対応

緊急時・防犯について不明な点がある。マニュアル等の周知は不明。

避難訓練に関しても不明な点がある。

事業所内での分析

【共通点】

- ・スペースが適正である。
- ・災害や緊急時・防犯などの安全面の周知が不明確である。
- ・保護者対応に関しても高評価をいただいている。
- ・行っている支援内容に関してその子の特性に合った支援を行うことができている。

【相違点】

- ・避難訓練が実施されているが、保護者への周知がなされていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・活動内容に関しては高評価をしていただいている。
- ・保護者会に関して今年には行っていないものの、毎年行うことが出来ており、保護者の連携もしっかりとれている。
- ・寄り添えるような環境作りをしている。
- ・イベントにも力を入れている。

事業所の改善点

- ・避難訓練の実施をもっと周知することはできないか。
- ・緊急マニュアルの周知をどうすれば全員に行うことが出来るのか。(職員・保護者双方)

事業所の改善への取り組み

- ・避難訓練の実施を半年に一回行い、色々な曜日で行うことによって、全児童が1度は参加できるように調節をする。又、消防署に届け出る事や、お便り等にて配信することによって保護者からの信頼を益々得られることができるかもしれない。
- ・緊急時マニュアルを利用開始の時に渡すことによってマニュアルの周知をする。その他のマニュアルに関してもそのようにして周知を心がける。現状通所してくださっている方に関しては、面談の際にご希望があればお見せすることができる。
- ・指導員のいつも目の届く場所にマニュアルを置くことにより、周知することができる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所で感じている部分と保護者様が感じている部分に相違が生じていた事がよくわかった。そのような誤差を縮めることにより良い支援を提供することができ、双方満足を得ることができるので、それを目標に努力したいと感じている。